



広 報

いいたて

<http://www.vill.iitate.fukushima.jp/>

平成14年

11 NOV 月

No. 469



やちうち
活力あふれる
わくわく・ライフ いいたて

一針一針心を込めて

世界で1本手作りネクタイ

公民館が行っている「女と男のわくわくトーク」事業は、11月5日に行われ、福島市の塩沢清子先生を講師に招いてネクタイ作りをしました。

今回のネクタイ作りは全て手縫いで行われ、参加者らは一針一針ていねいにネクタイを縫っていました。



▲いちばん館で行われた飯桶地区の懇談会のようす

10月15、18、21日の3日間、草野、飯桶、臼石それぞれの小学校区ごとに「市町村合併問題を考える地区懇談会」が行われ、村と住民とが市町村合併問題について話し合いました。

懇談会では村長が座長となり、合併問題について、住んでいる環境、財政の問題、国、県、相馬6市町村のうごき等、様々な角度から話し合いがされました。今回の特集ではこの懇談会の内容をご紹介します。

飯館村の進むべき道は？

住民と村がホンネで論議

市町村合併問題を考える
地区懇談会 いよいよ結論へ!?

◆国の進める市町村合併

今、国では少子化や高齢化、財政問題等の解決策として、また増える住民ニーズに対応できる強固な自治体の創造を目指して、現在約3200ある自治体を1000にしようとする市町村合併を進めています。「平成の大合併」と呼ばれるこの問題は、全国に大きな波紋を投げかけました。

全国では、すでに合併したり合併に向けて動きだしたりしている自治体、又は合併しない意思表示をした自治体など様々な動きがあります。

◆村の対応

こうした動きを受けて村では、合併を「目的」としてではなく、住民が村・地域を見つめ直す機会としての「手段」ととらえ、住民の意見をできるだけだけ合併の意思決定に反映しようと、市町村合併問題を考える村民集会や、住民の代表たちによるダイアログ（討論）、合併情報誌の発行など様々な方法で、住民への合併問題に関する情報提供をしてきました。

